プラネタリウム学習内容

４学年「月や星の見え方」（50 分程度）

ねらい	授業中の観察が難しい月や星の位置の変化および星について，既習事項や生活と関連付け，見通しを持った観察を行い，科学的に解決したり探究したりする態度を育む。

投映内容	学習の流れ及び学習内容
1．方位の確認	・方位を確かめる。
2．太陽の動き・日の入	・太陽の見える位置の変化を確認し，３年生の復習をする。
3．月の形 （三日月・半月・満月）	・月にはどのような形があったか思い出す。 ・月は，日によって形が変わって見えることを確認する。
4．月の動き ①三日月の観察 ②半月（上弦の月）の観察 ③満月の観察 ◎月の見え方のまとめ	 ・三日月の見える位置の変化を観察する。 ・上弦の月の見える位置の変化を，予想しながら観察する。 ・満月の見える位置の変化を，学習のしおりに記録しながら観察する。
5．星空の観察	・仙台から見られる星空を観察する。 ・星には明るさの違い，色の違いがあることを確かめる。
6．季節の星座 （星図の使い方）	・星図の使い方を知る。 ・星図を使って星を探してみる。　※学習のしおりを使用します。 ・季節の代表的な星座を探す。 ・北斗七星やカシオペヤ座から北極星を見つける。
7．星の動き ①東・南・西の空での星の動き ②北の空での星の動き ◎星の見え方のまとめ	・時間を進めて，星の見える位置やならび方の変化を観察する。 ・星も太陽や月と同じように動いて見えることを確認する。 ・北の空では，北極星を中心に，反時計回りに動いて見えることを確認する。
8．今夜の星空	・今夜の星空を眺め，季節の星座や天文の話題について学ぶ。

※ 学習の流れは変更となる場合があります。